

目的

※モビリティ・マネジメント：一人一人のモビリティ(移動)が社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを促すマネジメント施策のこと

- サイクルフェスタ来訪者に対して、公共交通利用のメリットや乗り方を伝えるポスター掲示、バスマップや高速バスアクセスマップによる新たな移動手段の提案から、日常的な移動を考え直す機会を創出を図るとともに、こども向け公共交通マップの提示とめりえ缶バッジ体験による子供の交通への親近感・興味の成熟を図る

施策の内容

①対象

- イベント来訪者【イベント入場者数 約28,000人】

②日時

- 令和4年11月5日(土)13時~17時 / 6日(日)10時~17時

③内容

- ポスター(公共交通のメリット、乗り方、こども向け公共交通マップ、高速バスアクセスマップ)の展示、啓発グッズの配布、アンケートの実施



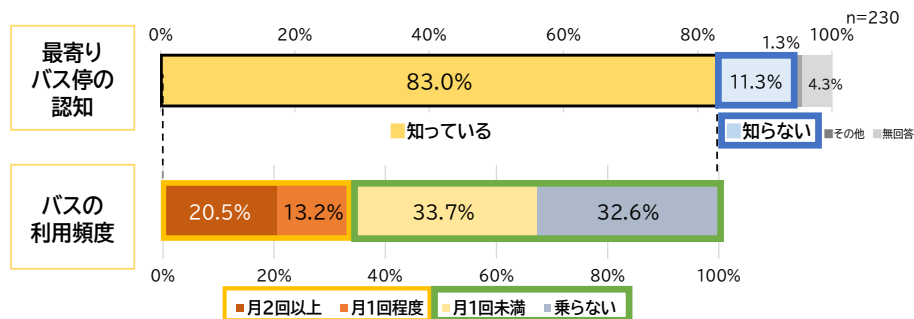
結果・効果

①効果確認

- アンケート調査(調査項目 性別/年齢/住所/同行者の属性・人数/来訪手段/自動車からの転換可能性/直近1年間のバス利用頻度/最寄りバス停の認知度・距離評価)から、公共交通の認知と利用の関係性を分析し、MM施策実施対象分類のための基礎資料を作成した

②実施結果

- ブース来訪者 約670人



認知

知らない【約1割】

・バス停の位置や行き先等基礎的な情報を提示

バスがあるんだ、できたんだ

判断

知っていても乗らない【約5割】

・個別の情報提示によるコミュニケーション、バスのメリットをPR

バスを使おう(具体的にどう行動するか考える)

行動

乗っている【約3割】

⇒継続的にバスの運行情報やメリットを提示

クルマの代わりにバスで行こう(家族とも一緒に)